

評 価 証

第 0 8 0 0 1 号

【技術の名称】

曲がり削孔工法（リアルタイムで誘導する曲線ボーリング）

1. 依頼者
法人の名称 五洋建設株式会社
住 所 東京都文京区後楽 2-2-8
法人の名所 ライト工業株式会社
住 所 東京都千代田区九段北 4-2-35
2. 評価の前提
評価の前提は、本技術の適用にあたって依頼者が推奨する方法で使用されるものとする。
3. 評価の範囲
評価の範囲は、依頼者より提出された開発の主旨、開発目標に対して、現場施工試験の結果等により確認できる範囲とする。詳細は港湾関連民間技術の確認審査・評価報告書（第 0 8 0 0 1 号）に示す。
4. 評価の結果
(1) 構造物直下の地盤において、地表から削孔位置を探查することなく、リアルタイムで姿勢を検出し、位置を算出することにより目標位置に誘導可能なことが確認された。
(2) 地中に磁性体を含む障害物があっても、その位置が分かれば、曲がり性能の範囲でこれを避けて削孔できることが確認された。
(3) 曲線部の最大交角 27° 、曲線部 2 箇所以内、最少曲線半径 30m の 3 条件において、所要の精度で目標位置に誘導可能なことが確認された。
(4) 地盤改良に用いる場合、削孔・注入の全作業を一方向から施工できることが確認された。

一般財団法人沿岸技術研究センターが定める港湾関連民間技術の確認審査・評価に関する実施要領に基づき、上記の内容を確認した。

なお、評価証の有効期限は 5 年間とする。

平成 20 年 11 月 27 日 第 08001 号
平成 25 年 11 月 27 日 第 1 回目更新
平成 30 年 9 月 30 日 第 2 回目更新
令和 5 年 9 月 30 日 第 3 回目更新

一般財団法人 沿岸技術研究センター
代表理事・理事長 宮崎 祥一